

地域づくりインターン事業

7月25日から8月24日の期間にかけて、地域づくりインターン事業が行われました。
6名の大学生が各家庭に2週間ほどお世話になりながら、農業体験やサザンビーチバレー大会・自然まるごと体験ツアーなどのイベント、自治会などの行事や会議への参加を行いました。
今月と来月の2月に渡って、インターン生の声を紹介します。

▶作業を終えて休憩中



◎宇野麻里子（派遣期間：7月25日～8月11日）

錦江町でのインターンはとても楽しく有意義なものでした。漁業、農業、林業、加工業などの体験をさせてもらったり、町内行事のスタッフをさせてもらったりと、盛りだくさんの18日間でした。

多くの町民の方々にお世話になり、錦江町には感謝の気持ちでいっぱいです。錦江町の海や森などの自然はもちろん素晴らしく錦江町の魅力だと思いますが、住んでいる人々もとても大きな魅力のひとつだと思います。ステキな夏をどうもありがとうございました！また絶対に訪れたいと思っています。

◎伊藤美智子（派遣期間：8月1日～8月20日）

錦江町に来る前は、多くの出会いや初めての体験に対する期待と、インターン生としてうまくやっていけるかという不安でいっぱいでした。しかし実際に錦江町にきてみて、緊張はしたものの、その不安はすぐになりました。挨拶をすると当然のように返事が返ってくる、質問すると丁寧に教えてくれる、そんな地域の方々の温かさが凄く嬉しかったです。

また錦江町に来て、空など遠くの景色をみる機会が増えました。毎日のように通った場所も、その時々で違う顔をみせてくれました。私は海、山、川、青空、夜空をここまで満喫できる場所に初めて来ました。

派遣期間を終えて、いくつかあった派遣地から錦江町を選ぶことができよかったと心から思いました。普通に学生生活を送っていたら、絶対に経験することのできなかったことも沢山体験させてもらいました。20日間本当にありがとうございました。これから錦江町にどのように関わっていけるかはまだわかりませんが、今回見ることの出来なかった錦江町を見に帰ってこようと思っています。その時はまたよろしくお願いします。



◀楽しかった、城元納涼大会

◎根岸あゆ美（派遣期間：8月3日～8月20日）

この夏の錦江町での経験は、私にとって本当に実りあるものでした。ずっと東京で育ったので、初めて目にする青い海と深い緑と分厚い雲と満天の星に目を奪われました。ホームステイで私は2つの家庭にお世話になりましたが、どちらの家の方もとても温かく迎えて下さいました。地元の方と密に触れ合えた貴重で楽しい時間でした。納涼祭も2地区参加させてもらいました。地区ごとに特徴があり、地域を大切にしている思いのこもった楽しい大会でした。農業や木炭の釜出し作業などを行った時は、初めての体験を嬉しく感じると同時に、予想以上に大変な作業を継続してやってきていることに脱帽しました。作業の合間にお話をする機会があった時、農業は博打の様なものだというお話を聞きました。その他地元の方が集まった場でも

色々なお話を聞いて、携わる方々の苦勞を感じました。

過疎や市町村合併も含め、今までテレビなどを通してしか知らなかったことの現実を目の当たりにしてすごく刺激になりました。18日間、錦江町で農村の生活、人々の温かさ、苦勞に触れることができました。インターンは終わりましたが、今後も継続して、また錦江町に来たいと思います。

▶慣れない手付きで作業です



▲来年はビーチバレーに、3人で参加したいです。



▲落花生の生態を学習中。いつも以上に真剣です。



▲神川大滝の水しぶきをたくさん浴びました。